

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

平成31年1月20日号

い い 亥亥年になりますように！



平成最後の年、2019年がスタートしました。今年の干支は、「亥（いのしし）」。
次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年という意味もありますが、ボラン
ティアセンターも新たな目標を持ち、亥亥年になるよう猪突猛進で頑張っていきたい
と思います。今年もよろしくお願いいたします。



- 表紙 若松さんの門松作り
- P2 ボランティアセンター交流 café
- P3 こりす文庫もちつき大会
・とんぼの会いじめ防止寸劇
- P4 かっこうの会朗読会・くさのみ交流会
- P5 虹っ子童謡合唱団
～第17回クリスマス会&ミニコンサート～
- P6 お知らせ
- P7 相談コーナー・ボランティア募集情報！！
- P8 収集物報告 など

毎年年末に門松を作り、小・中学校、市役所、公民館、その他市内外の約20箇所へ門松を届ける活動をしている「みちくさの会」の若松東征さん。一年間お世話になった感謝の気持ちと、良い年を迎えてもらいたいという思いで、40年以上この活動を続けているそうです。





「ボランティアセンター交流 café」を 開催しました！

ボランティアセンター初めての事業として11月15日（木）塩原地区、22日（木）西那須野地区、29日（木）黒磯地区でボランティア同士の交流の場、又は新しい仲間の募集の場として、ボランティアセンター交流 café を開催しました。

参加者は登録団体や個人ボランティア、ボランティアに興味がある人など合計43名が集まりました。飲み物を飲みながら近況報告や、お互いの活動内容などいろいろな意見交換をして、笑顔で交流会を行うことができました。ボランティアさん達と一緒に情報交換でき、また横の広がり大切にしていける場を、今後も作っていきたいと思います。

▼新しい会員と近況の話しをするようす



11月15日
塩原地区



11月22日
西那須野地区

▲自己紹介後の情報交換のようす



11月29日
黒磯地区



▲ボランティアさん手作りの料理を食べながら意見交換しているようす

毎年恒例！こりす文庫もちつき大会

▼地域の方々の協力を得てもちつき！

毎年恒例のこりす文庫もちつき大会が、12月2日（日）稲村公民館で開催されました。朝早くから、こりす文庫のメンバーのほか、地域の方々や高校生ボランティアグループとんぼの会も集まり、もちつきの準備を行いました。時間になると、地域の子供達も次々と集まって来ていました。準備ができるまでは、こりす文庫西部代表の読み聞かせや特大のカルタ取りなどのレクリエーションを楽しみました。もちつきが始まると、子供達は列をなして、ひとりひとりもちつき体験をしました。青空の下、子供達は「よいしょ！よいしょ！」と元気な掛け声をかけながらもちをついていました。参加した子供達の中には、「初めてもちつきをした！楽しかった！」と嬉しそうに話している姿がありました。もちをついた後は、きなこもち、あんこもち、お雑煮が振舞われ、集まった100名以上もの参加者で賑わっていました。お代わりをして食べている子供達もいて、毎年楽しみにしていると話していました。

▲西部代表の読み聞かせ



▲大盛況でした♪



▲こりす文庫の皆さん



『高校生ボランティアグループとんぼの会』～いじめ防止寸劇披露～



那須塩原警察署の堀江氏よりいじめ防止の寸劇を一緒にできないだろうかとの相談を受け、「高校生ボランティアグループとんぼの会」のメンバーと劇の準備をしました。ちょっとしたきっかけからいじめに発展してしまうことがあるということ、そして、ちょっと勇気を出せばいじめを解決できるかもしれないということを伝えられればという想いで劇を作りました。とんぼの会のメンバーに脚本を書いてもらい、秋ごろから週に1度の練習を重ね、12月26日（水）埼玉すくすくクラブで初披露しました。劇が始まると、児童達は真剣に劇を見ていました。仲良し4人組がちょっとしたきっかけでぎくしゃくした関係になってしまい、悩んでいる友人を他のグループの友人がそれに気づいて声を掛けてあげることにより仲直りをするという内容のもので、それぞれの役を演じた高校生から役をやってみた感想を発表してもらいました。児童達も劇を見て、自分だったらどうするか、どう思ったかなどの感想を聞くと「謝る勇気を出せばよいと思った」「誰かに相談すればよい」などの意見を発表してくれました。

とんぼの会にいじめ防止の劇をやってほしいなどの依頼は、ボランティアセンター黒磯までお問い合わせください。とんぼの会に入って一緒に活動してくれる仲間も大募集中です。



▲堀江さんと劇に出演したとんぼの会のメンバー

『声のボランティア かっこうの会』

～『泉漾太郎（ようたろう）生誕 110 年記念企画展』朗読会&塩原地区のリスナーとの交流会～

12月9日（日）音訳のボランティア活動をしている『声のボランティア かっこうの会』が、塩原ものがたり館で行われている『泉漾太郎生誕 110 年記念企画展』での朗読会に、塩原地区のリスナーを招いて交流会を行いました。

当日は、朗読をする人、リスナーの送迎やサポートをする人とかっこうの会員総出でした。第1部では、野口雨情の愛弟子で地元塩原温泉の民謡詩人、泉漾太郎が書いた『野口雨情回想』をかっこうの会のメンバー7人が朗読を行い、参加者は、時折出てくる地元の情景を思い浮かべながら耳を傾けていました。第2部では、オカリナ奏者、貝塚美智子氏による野口雨情の童謡を中心としたオカリナの演奏会が行われました。リスナーの中には、平成24年度末で閉所となった塩原視力障害センターの生徒さんもあり、泉漾太郎が作詞した『塩原視力障害センター所歌』が演奏されると、なつかしきながらオカリナに合わせて所歌を歌っていました。

朗読会後の交流食事会では、リスナーから「カラオケ交流会もいいけど、このような文化的な交流会もいいよね」との声もありました。



『音訳ボランティア くさのみ』

～くさのみ会員とリスナーによる歌の交流会～



12月5日（水）鹿島ウェディングリゾートで行われた、『音訳ボランティアくさのみとリスナーとの交流会』に参加させていただきました。交流会には、くさのみの会員とリスナーが30名参加し、新井会長の挨拶で始まり、参加者全員が自己紹介をしました。その後、毎年恒例の、みなさんが楽しみにしている「カラオケ」では、演歌やポップスまでいろいろな歌が披露され、手拍子でリズムをとったり、口ずさんだり、たくさんの美声を聞くことができました。

会の最後に、女性会員と女性リスナーで結成した「自称??美少女合唱団」がリスナーの築瀬氏が弾くギターに合わせて「おぼろ月夜」と「雨降りお月さん」を歌い、終始笑顔で交流することができました。

※ リスナー 声の広報の利用者

虹っ子童謡合唱団～第17回クリスマス会&ミニコンサート～



12月16日（日）虹ヶ丘認定こども園を会場に『虹っ子童謡合唱団（3世代合唱団）のクリスマス会&ミニコンサート』が行われました。今年で発足16回目を迎え、発足以来毎年クリスマス会を開催してきました。オープニングは、丹野代表の「メリークリスマス！」の掛け声から始まり、「ジングルベル」「サンタが街にやってくる」を会場の皆さんと合唱しました。黄色のお揃いのトレーナーとサンタクロースの帽子を被ったメンバーが登場すると、「赤鼻のトナカイ」や「ウィンターワンダーランド」などのクリスマスのうたを披露しました。



今年は、『アンサンブル^{コージー}cozy』さんをゲストに迎え、バイオリン、ビオラ、チェロ、フルート、ピアノの素敵なアンサンブルの音色も会場の皆さんへ届けました。アンコールには、「きよしこの夜」の演奏で応え、会場を盛り上げました。また、虹っ子童謡合唱団とアンサンブル cozyのコラボレーションでは、「となりのトトロ」を披露し、会場の皆さんを喜ばせました。



コンサートの後は、参加者全員でレクリエーションを楽しみました。最後に、キャンドルサービスが行われ、クリスマス会&ミニコンサートを締めくくりました。参加した全員が、幸せな気持ちでいっぱいになるクリスマス会でした。来年の開催が楽しみです。





第13回那須塩原市社会福祉大会

日 時：平成31年1月26日（土）

【開場】13:00 【式典】13:30～ 【講演】式典終了後～

場 所：那須塩原市三島ホール（那須塩原市東三島6-337）



【式典】13:30～（1時間程度）

社会福祉功労者等の表彰式

【講演】式典終了後～

講師 オスマン・サンコンさん

『イチ、ニ、サンコンの支え愛、助け愛』

入場無料

手話通訳
要約筆記あり

主 催：那須塩原市社会福祉協議会・那須塩原市

問合せ：那須塩原市社会福祉協議会 Tel0287-37-5122

ボランティア受入講座

福祉施設や地域活動を行っている団体などでは、ボランティアの協力を得て行事や事業を行うなど、多くのボランティアが活動しています。しかし、「ボランティアの受け入れ方・関わり方がわからない」「施設にボランティアが定着しない」などの課題も多いのではないのでしょうか。ボランティアを受け入れる体制づくりや、ボランティアとの関わりについてのヒントとなる話を聞いてみませんか！



日 時：平成31年2月23日（土）10:00～12:00

場 所：東那須野公民館 多目的室（那須塩原市東小屋474-11）

講 師：土崎雄祐氏（茨城大学 社会連携センター 講師）

内 容：『ボランティア受入講座』

地域にやりがい・生きがいをもたらす「参加のチカラ」

ー施設・団体におけるボランティア受入のススメー

対 象：ボランティアを受け入れている、受け入れたいと考えている福祉施設や団体等

定 員：90名

参加費：無料

主 催：那須塩原市社会福祉協議会

申込み：2月13日（水）までに下記までお申し込みください

申込み・問合せ：那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター本所

那須塩原市南郷屋5-163 健康長寿センター内

Tel0287-47-6700 担当：福田・秋元

精神保健福祉ボランティア関連研修会

日 時：平成31年2月25日（月）14:00～16:00（受付13:30～）

場 所：栃木県精神保健福祉センター（宇都宮市下岡本町2145-13）

内 容：1部 講話『ひきこもりと発達障害の特性』

講師 栃木県精神保健福祉センター 精神科医師 山田知弥 氏

2部 講話『ひきこもり支援 ～ボランティアにできることから～』

講師 一般社団法人 栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作 氏

対 象：次のいずれかの該当する方

（1）精神保健福祉分野を含め、現にボランティア活動をされている方

（2）その他ボランティア活動に興味関心のある方

定 員：50名程度

参加費：無料

主 催：栃木県精神保健福祉センター

申込み：2月5日（火）までに下記までお申し込みください

申込み・問合せ：那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター黒磯

那須塩原市桜町1-5 いきいきふれあいセンター内

Tel0287-73-0073 担当：植野



ボランティア 相談コーナー ボランティア、どうやって依頼するの？

Q障害者施設に務めています。今後、ボランティアを積極的に受け入れ、地域の方々と施設入所者の交流を図りたいと考えています。

そこで聞きたいのですが、ボランティアが必要なときはボランティアセンターに連絡をすればよいのでしょうか？申込書などはありますか？どのように申し込めばよいのでしょうか？また、他の施設ではどのようなボランティアさんに来てもらっているのでしょうか？

(30代 女性)

Aボランティアが必要な時は、ボランティアセンターに電話をするか、直接来所してください。担当職員が詳しく内容を聞いた上で、「ボランティア相談受付カード」を記入していただき、受付をします。相談受付カードは、那須塩原市社会福祉協議会のホームページからダウンロードすることもできます。

相談受付カードに記入していただく内容は、依頼者名、連絡先、活動依頼日、必要なボランティアの人数、集合場所、活動場所、集合時間、ボランティアの内容（詳しく）、持参品などです。ボランティアを依頼する場合は、これらのことを担当者間でしっかり決めてから依頼すると良いでしょう。

施設関係からの依頼で多いのは、夏祭りや秋祭り、敬老会、新年会などで余興やお手伝いをお願いしたいというものです。踊りや合唱、人形劇や楽器の演奏など、依頼者からの要望をもとに引き受けてくれるボランティア団体や個人の方を探します。また、傾聴ボランティアを依頼する施設もあります。

※ボランティアをこれから受け入れようと考えている施設や団体向けの講座を開催しますので、ぜひこの機会にご参加ください。
詳しくは、6ページをご覧ください。



託児ボランティア募集！

日時：平成31年2月3日（日）
9時15分～11時45分頃
集合：9時00分
場所：三島公民館
内容：発達支援講演会時の託児
（1歳以上小学2年生以下）
発達に支援が必要なお子さんも託児する
可能性があります。
主催：那須塩原市、那須塩原市教育委員会

活動：月に2回程度（不定期）
10時30分～12時00分頃
集合：10時15分
場所：川嶋工務店 NBS
（那須塩原市弥生町10-9）
内容：ママさん達が教室を行っている間の
託児（1歳以上）
主催：Nasu maman project

日時：平成31年2月3日（日）
13時30分～15時30分頃
集合：13時00分
場所：三島公民館
内容：講演会時の託児（3歳以上小学3年生以下）
主催：NPO法人ゆめがくどう

☆明るく、元気で、子どもが大好きな方、託児ボランティアとして活動しませんか？



【申込み・問い合わせ】

ボランティアセンター黒磯 TEL0287-73-0073

皆さまからお預かりしました収集物を次のとおり寄付しましたので、ご報告いたします。

《プルタブ》

【平成30年11月～12月分】6. 25kg
※障害者福祉施設に寄付し、施設の活動に役立てられています。

《ペットボトルキャップ（エコキャップ）》

【平成30年11月～12月分】
161kg 69,230個 ワクチン 56人分
※回収業者によってリサイクル資源として売られ、売却益の一部を『認定NPO 法人世界のこどもにワクチンを日本委員会』へ寄付し、UNICEF と連携して世界各地の子どもたちへのワクチンとなっています。

ご協力ありがとうございました。

ボランティア保険加入手続きを随時受付しています。

ボランティア保険は、活動中の事故やケガを補償する保険です。ボランティア活動をする前には、ボランティア保険に加入しましょう。加入手続きは、社会福祉協議会またはボランティアセンターの窓口までお越しください。

情報誌に載せる情報を募集しています！

ボランティア募集、投稿記事、行事、セミナーなどの情報をお寄せください。情報誌の発行は、奇数月の20日です。



【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内

電 話：0287-47-6700

FAX：0287-47-6690

Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内

電 話：0287-73-0073

FAX：0287-73-0073

Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

11月	イベント	12件	37人	12月	イベント	7件	41人
	託児	5件	21人		託児	4件	16人
	その他	0件	0人		その他	1件	2人
	合計	17件	58人		合計	12件	59人

ボランティア登録数（12月31日現在）

団体	個人
73団体	100人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター黒磯

〒325-0042 那須塩原市桜町1-5（いきいきふれあいセンター内）

TEL・FAX 0287-73-0073 開設時間 月～金 8:30～17:15

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>

Eメールアドレス k.vcenter@ns-shakyou.jp

